

伯利西爾時報

霜害の豫防方法

江信

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

胤

◆外電一束◆

◆日露商議不結果◆

後藤子爵招待と云ふ觸込で來朝中だつた露國ノビエト政府の代表ヨツフエ氏は近く日本を去つて支那に向ふと云ふ日本政府との商議は第二次問題たる沿海州漁業権の如きもの、外得る所はなかつた模様である(東京)

◆對獨日本の回答◆

賠償問題解決の爲聯合各國へなした獨逸の提議に對し日本の回答は十五日に獨逸政府へ交附されたが同回答に於て日本は獨逸の提議及支拂方法は不徹底なものとして拒絶し速に満足な解決に到達すべき事を期待してゐる(柏林)

◆日本ニ戰ヘニ決議◆

上海では十四日學生や實業家等の日本問題大會が催され慷慨悲愴の演説が繰り返された後政府に向ひ日本が大連や旅順を支那へ返還しないから最後通牒を送り開戦準備をする事を獻する決議文を可決した(上海)

◆亂れゆく支那國狀◆

上海では十四日學生や實業家等の日本問題大會が催され慷慨悲愴の演説が繰り返された後政府に向ひ日本が大連や旅順を支那へ返還しないから最後通牒を送り開戦準備をする事を獻する決議文を可決した(上海)

◆米國消費護謨ニ伯國◆

前號所報の賊團所業に就き英外務省の受報に依れば捕虜外人中一名の女があり同女は墨西哥人の妻で捕えられた夫と離れるを拒んだからで其外人は全部男十三人で其は米人六英人五伊人一佛人一だ(倫敦)又賊團長と見したウイリアム父の談に依るに賊徒は外交團が支那政府から要求金額を支拂ふ保證を得て外人を解放する爲地へ向つた又同時に捕虜になつてゐた三支那人は自殺したと云ふ(北京及上海)十六日の國會では二百五十一對七十票で政府信任案を否決した(北京)十二日は終電氣強よく雪が降つた(エノス・アイレス)

◆ブ市に雪降る◆

世界生産護謨の七割五分を消費する米國の原料護謨供給者の第一位は英領印度第二位は蘭領南洋第三位は東洋護謨の再輸出をする英國第四位が伯國である而して昨年及一年の

◆下る馬克價◆

米貨一弗の馬克は四萬馬克に落着いた模様である(柏林)

◆聖州鐵道現狀◆

聖州内の鐵道條例は千八百九十二年六月十三日の法律第六十號に依つて規定され、各個人會社等は監督官廳よりの許可を得て聖州内に鐵道建設營業の權利を自由に得られる事にあつた

◆伯國輸出入貿易◆

本年二ヶ月間の伯國輸出入貿易はのに連れ伯國產も其價格を著しく高

◆バナ、輸出ニ将来◆

本年一月乃至二月の伯國全國外貿易輸出入を前年及戰前同期間との對比して示せば次の如くである

◆物價表◆

右關係者は至急現住所御通知ありたし本船は六月中旬「サンクト」入港の豫定なり

◆海外興業會社移民部◆

當社貸付者にして他轉後未だ届出なき諸君は此際御一報被下度候

◆廣告◆

當社貸付者にして他轉後未だ届出なき諸君は此際御一報被下度候

◆御承知の如く一月末日は拂込期日に有之候不日計算書御送附可申上豫め御準備被下度候

▲今回貸付金整理の必要上更に行衛を不明にしある者、拂込不良たる者及び拂込み得る余裕あつて尙且つ拂込みを爲さざる者ミ認むる諸君に對しては本年三月以降日本に於て御請求可申上此儀豫め御含置被下度御通知申上候以上

◆神奈川呼寄移民氏名◆

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量	平均價
一九二一年	二二、六六二千英斤	五、五一九
一九二二年	三三、一九四三	二、五三〇
一九二三年	三、七七一	四、五六六
一九二四年	二、八〇〇	七五、〇〇〇
一九二五年	一、三〇〇	一、二〇〇
一九二六年	一、二〇〇	三、五〇〇

伯國護謨の米國輸入は次の如くであつた

年	數量
---	----

「僕に就いてちや御安心あつて然るべ
しだ、神秘な女つてにやあ、もう昔
から恐れてゐるんだからね。」
「一人が云へば他の者が之に和し
て奴の大に怖いね。」
「僕だつてだ、神通力を持たぬ普通
の人間に過ぎないんだからな、天人
するドットル・ジエラルドが訊
いた。
『所で社交界から遠く離れて生活し
てゐるその女が、その不思議な孤独
な隠れ家を捨て、この公開な賑か
な舞踏會へ、來やうと決心するに至
つたのはどうしてだらうね?』
『其奴は六かしい理屈はないんだよ
君、殆ど強制的に此處へ出現したの
さ。僕はもう随分以前から、彼女の
を疑ふやうになり、警察さへも不審
されるやうに美人を造つた造物主の意『どうだか、まあ眞實からあんまり
に反して一つの罪を犯してゐるのだ外れもしませ。』
と、あらゆる方法で彼女を得心させ
るやうに務めたんだ、何故なら僕はパロは關はず續けた。
よくある嫉妬深い、憂鬱症の戀人等『それでそんな疑を受けるのは根も
が、その愛する本體を地中深く隠しない事で下らない事なんだから、自
分からそんな疑から遠ざからなければ
も、祈願も、歎願も皆無効だ、親娘やならない、と云ふ事を思はせ、だ
は始終公衆の前に出るのを、様々ながら社交會へ出入するのを絶對的に
口實の下に拒んだもんだ。然しそう強要したのさ、此の虚つぱちからぬ
くの一の謀計が圖に當つたよ、まあみの駒が出て譯だ。』
かふ云ふ事を彼等に信しさしやつ、彼等の爲には却つて尙悪い因非が
たんだ、それはねかうして未知な士見へてゐるぢやないか、而して僕に
地へ来て、社交界に觸れもせず退隱は益々不審の念を強める、若し全く
して、生活する云ふ事は、既に世潔白な者なら、世間や警察の疑惑な
間の活題にも上り初め二人の身の上などに氣も止めず、今迄通りの生活

居た空虚な古い一時の衣裳や
そうに有つて居たごちやくした頭
脳のがくいたをも弊へ靴と一緒に男
らしく綺麗確の張り脱ぎ棄てて印度
生れた素性が掃き溜めのこと、どう彼方此方に轟く
せ、碌でない時代の畸形兒こそは情凄まじきかのエンゲンの音を、
けない。何れ後からはマラリヤ熱の將又、惡魔の城壁を
やうなうら若い美しい女が、孤獨な相な目付で眺め出したこね、かなり
隠家に隠遁してゐるのは、人から世尤もらしい嘘だつたね…………。

林川清市 村川清市 十七歳
の者去る二月十九日出家し八方
致し候も今に心術判明せず近父清
老體の事にて心術判明せざり又近父
へ思ふ様に見ゆすために仕事も
ざる様に相成り候條近々中に歸
事に相成り候へ共清市之行術判明
せざるため困却能在候御方は至急
御方は至急措置者迄で御通知被
此段御願ひ申上候
バウリス タ線
モツーカ驛東京殖民地
馬 場 直
Est. Moutz, L. Paulista

君は如何に御思召し給ふか、
おしき者の幸ひを
われは能く知るものなり
當める者の天國に入る
難をも我れは信するなり
れど主よ、
おめの者たために日々に
ひ行くこの身を如何にせん、
神よ、
は彼の小鳥に非ざるを如何にせん、
よ、わが祈る神よ
まみ給へ。

聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ會社
シアカラの貨物
△面積 一四、一〇〇米突平
△場所 J.W. B. Laiz Antunes
△附屬物 の終點より近し
一家一馬小屋一
詳細毎夜七時半程り九時迄に
Rua Alameda Roeha Azvedo
問合はせられ度し

An illustration of a large agricultural machine, possibly a plow or harvester, being pulled by a team of horses. The machine has a prominent front wheel and a long wooden frame. A person is seated on the machine, operating it. The background shows a simple landscape with trees and a fence.

Y-SI 削節 日本農豆 清御有名切れ其他上

世界の事實である供給員ドットアンドカンパニーの事務所は、本作業場の運営に於ける役割を細々と記す。本作業場は、主として、本作業場の運営に於ける役割を細々と記す。本作業場は、主として、本作業場の運営に於ける役割を細々と記す。

御望みの
等化粧品、小間物、書籍
味上等の金物類、大工
なる日本賣藥一切
婦人藥、熱さまし、小兒かん
涼劑、腹痛、毒消し

土地賣り廣告
ノロエステ線ベニナ驛付近に一ヶ所にて孰れも地券は肥沃位置は高臺珈琲に適しても御望み次第分け賣致しは二ヶ年拂ひにして拂込方しく申上ますから御來談を契約前に實地御踏査を必要方にして左記へ御出で下さい
ノロエステ線ベニナ

古外套洋服
種、雜誌、食料品
道具一切
むし、虫下、強壯劑
木等高價買入ます
販賣

近に一ヶ所ミベンナ
確實です。確実です。
し拾アルケール以上
します。申します。
法及び價格は面談の
願ひます。
ごしませうから御希
らば御案内致します。
譯
彦次郎

大石内藏之助

牛井桃水

第一百二十一回

「若し今頃、お出かと存じて、實房に、何と仰せ残された、跡の事はお待ち申した所ぢや、武林氏御苦勞で御座つたの」と温顔に笑を含んだ内藏之助に打向へば、烈火のやうに怒り立つた唯七も、自から頭が下る。

『前日お立寄の事と存じ居たに、直様大阪へ下られたとやら、何か急ぎの御用ばし御座つたか』

『御當地にある人々は、いつも氣永い事ばかり申されて、我々の覺悟とは、大きな相違が御座ります故、堀部與田と左合はせ、同志の人を集め途次右衛門は唯七に向ひ、おぼる月のかげを踏んで、立歸る爲め、兩人上りました次第、されば御當家へも參上致さず、早速大阪へ立越しましたが、數右衛門の話でたいて笑ひ掛れば、唯七はつと息

は、拙者が不忠者、卑怯者と仰せられたとか、その仔細承はる爲め、立歸つて御座ります』

『ハ、ア左様か、好こうこそお出で下さい』

『拙者が何故、卑怯者か、その説仰せ聞けられませう』

『當初義盟を致した時、内藏之助が立歸つて御座ります』

『ハ、ア左様か、好こうこそお出で下さい』

『拙者が何故、卑怯者か、その説仰せ聞けられませう』

『夫は惜に申して御座る』

『一旦言葉を約ひながら、守る事も出来ぬ者を、卑怯者と申たが、某の誤りか』

『夫は惜に申して御座る』

婦人欄

◆孝は百行の本

◆孝は百行の本</